

【漁業者委員】

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）							
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況			氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の役職・氏名	構成員		推薦理由
							従事年数	主な漁業種類	漁業者又は漁業従事者であるかの別								構成員の人数	構成員たる資格	
1	漁業者	渡邊 登	68歳	男	漁業	H5.8～H15.9 H15.10～H27.3 H27.4～現在 新地漁業協同組合 監事 相馬双葉漁業協同組合 新地支所長代理 相馬双葉漁業協同組合 新地地区代表代理	42年	固定式刺網 機船船曳網 さし網 流し網	漁業者である	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	渡邊 登氏は、固定式刺網漁業、機船船びき網漁業を主として、42年余り漁業に従事し、現在、相馬双葉漁協理事兼新地地区代表代理として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、宮城県との入会協議の再開に意欲を見せており、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。	
2	漁業者	今野 智光	62歳	男	漁業	H28.6～R1.5 R1.6～現在 R1.6～現在 相馬双葉漁業協同組合 理事 相馬双葉漁業協同組合 理事兼相馬原釜地区代表代理 相馬双葉漁業協同組合 試験操業検討委員会委員長	46年	固定式刺網 機船船曳網 沖合たこかご	漁業者である	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	今野智光氏は、固定式刺網漁業、機船船びき網漁業を主として、46年余り漁業に従事し、現在、相馬双葉漁協理事兼相馬原釜地区代表代理として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業検討委員会委員長として、試験操業から通常操業への移行を目指すため、本県漁業の復興に向けて尽力されており、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦いたします。	
3	漁業者	山下 博行	67歳	男	漁業	H28.6～現在 H28.8～現在 相馬双葉漁業協同組合 理事 海区漁業調整委員	30年	海苔養殖業 あさり養殖業	漁業者である	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	山下博行氏は、海苔養殖業、あさり養殖業を主として、30年余り漁業に従事し、現在相馬双葉漁協理事（松川浦地区）、第21期海区漁業調整委員として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。	
4	漁業者	狩野 一男	68歳	男	漁業	H9.5～H15.9 H25.6～現在 磯部漁業協同組合 監事 相馬双葉漁業協同組合 理事	52年	機船船曳網 かご漁業	漁業者である	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	狩野一男氏は、機船船びき網漁業、かご漁業を主として、52年余り漁業に従事し、現在、相馬双葉漁協理事（磯部地区）として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。	

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）							
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況			氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の役職・氏名	構成員		推薦理由
							従事年数	主な漁業種類	漁業者又は漁業従事者であるかの別								構成員の人数	構成員たる資格	
5	漁業者	平 仁一	65歳	男	漁業	S49～ 真野川漁港所属船に乗船し漁業者として従事 平成2年に自己所有船 平安丸にて操業 現在に至る S62～H9 青年漁業士 H11～H16 指導漁業士 H12～H14 鹿島漁業協同組合 監事 H15～現在 相馬双葉漁業協同組合 理事	47年	機船船びき網 固定式さし網	漁業者である	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	平 仁一 氏は、機船船びき網漁業、固定式刺し網漁業を主として、47年余り漁業に従事し、青年漁業士、指導漁業士を歴任した。現在、相馬双葉漁協理事（鹿島地区）として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。	
6	漁業者	森田 政利	62歳	男	漁業	S52.4～ 漁業に従事、現在に至る 請戸漁業協同組合青壮年部 部長 H15～現在 請戸漁業協同組合 理事 H15～現在 相馬双葉漁業協同組合 理事 相馬双葉漁業協同組合 請戸地区代表代理	43年	機船船びき網 固定式さし網 一本釣	漁業者である	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	森田政利 氏は、機船船びき網漁業、固定式刺し網漁業を主として、43年余り漁業に従事し、現在、相馬双葉漁協理事兼請戸地区代表代理として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、福島第一原発のある双葉郡の漁業復活に強い意欲をもって尽力されており、試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。		
7	漁業者	吉田 康男	53歳	男	漁業	H22～H29 福島県漁業協同組合 青壮年部連絡協議会 会長 H19年度～現在 いわき市漁業協同組合 総代 H28～現在 久之浜採鮑組合 組合長	34年	採鮑漁業 船曳網漁業	漁業者である	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	吉田康男 氏は、採鮑漁業、機船船びき網漁業を主として、34年余り漁業に従事し、県漁協青壮年部連絡協議会会長を歴任した。現在、いわき市漁協総代（久之浜地区）、久之浜採鮑組合組合長として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。		
8	漁業者	永瀬 哲浩	55歳	男	漁業	H16～H25 いわき市漁業協同組合 総代 H25～R1 いわき市漁業協同組合 監事 R1～現在 いわき市漁業協同組合 理事	36年	船曳網	漁業者である	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	永瀬哲浩 氏は、機船船びき網漁業を主として、36年余り漁業に従事し、いわき市漁協総代（江名町地区）、監事を歴任し、現在、理事として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、茨城県との入会協議の再開に意欲を見せており、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。		

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）								
		氏名	年齢	性別	職業	経歴		漁業経営状況			氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の役職・氏名	構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類	漁業者又は漁業従事者であるかの別	従事年数	主な漁業種類								漁業者又は漁業従事者であるかの別	構成員の人数	
9	漁業者	今泉 浩一	56歳	男	漁業	H22～現在 いわき市漁業協同組合 総代	41年	底曳網 船曳網	漁業者である	-	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の 漁業協同組合	今泉浩一氏は、小型機船底曳網漁業、機船船びき網漁業を主として、41年余り漁業に従事し、現在、いわき市漁協総代（勿来地区）として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、試験操業から通常操業への移行を目指すため、茨城県との入会協議の再開に意欲を見せており、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので、推薦いたします。	

【学識経験委員】

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）					
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	専門分野 又は資格等	氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の 役職・氏名	構成員		推薦理由
															構成員の人数		
1	学識経験委員	川邊みどり	59歳	女	東京海洋大学 教授	H28～ R元～ H21～H30 H18～H28 H17～H19 H19～H26 H26～ 福島海区漁業調整委員会委員 水産政策審議会委員 福島県水産振興審議会委員 神奈川県水産審議会委員 東京海洋大学・助教授 東京海洋大学・准教授 東京海洋大学・教授	海洋・沿岸域 管理					国立大学法人 東京海洋大学	大学の教育研究に 対する国民の要請 にこたえとともに、 我が国の高等 教育及び学術研究 の水準の向上と均 衡ある発展を図る ため、国立大学を 設置して教育研究 を行うこと。	国立大学法人 東京海洋大学 長 竹内 俊郎	664人	被推薦者の専門分野は海洋・沿岸域管理であり、海洋・沿岸域の資源や環境を持続的に利用するためのしくみ（制度、組織、基盤構築、およびステークホルダー間の社会的な学び）について研究を行っている。これは委員会が目的としている「水面を総合的に利用し、漁業生産力を発展させること、あわせて漁業の民主化を図ること」に合致している。またこれまで福島海区漁業調整委員会委員として活動してきた経験がある。そのため学識経験者として適切な意見を述べることができると考え推薦する。	
2	学識経験委員	渡邊千夏子	53歳	女	研究員	H4.4～ H27.4～H30.3 H31.4～R2.7 R2.7～現在 水産庁中央水産研究所 生物生態部資源生態研究室 研究員 水産研究・教育機構 中央水産研究所 資源管理研究センター 資源評価グループ グループ長 水産研究・教育機構 中央水産研究所 資源研究センター 主幹研究員 水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部浮魚第2グループ 主幹研究員	資源評価					国立研究開発法人 水産研究・教育機 構水産資源研究所	水産に関する技術 の向上に寄与する ための試験研究等 を行うとともに、 さけ類及びます類 のふ化及び放流を 行うほか、水産業 を担う人材育成を 図るための水産に 関する学理及び技 術の教授を行う事 を目的とする。	水産資源研究 所長 田中 健吾	正職員1,111人 (機構全体)	被推薦者は水産庁及び政府所管の水産試験研究機関において28年にわたり、日本の太平洋側海域における漁業資源の調査や評価を実施するとともに、学術論文も数多く公表してきた。マサバなどの漁業資源評価の専門家として、関係する資源管理指針や方策に関する知見も豊富に有している。以上の業務経験と専門知識を活用することで、福島海区における資源管理計画や措置に関する答申・指示の作成への大きな貢献が期待できることから、委員候補として強く推薦する。	
3	学識経験委員	鈴木 哲二	64歳	男	団体役員	H24.4～H25.9 H25.9～H26.6 H26.6～現在 福島県漁業協同組合連合会 参事 福島県漁業協同組合連合会 常務理事 福島県漁業協同組合連合会 専務理事	漁業経営					福島県漁業協同組 合連合会	会員が協同して経 済活動を行い、所 属員の漁業の生産 能力の向上等その 事業の振興を図 り、もって所属員 の経済的社会的地 位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	鈴木哲二氏は、現在、当連合会専務理事として、本県水産業の振興発展に尽力している。特に、東日本大震災で被災した本県水産業の復旧復興のため、試験操業から通常操業への移行に向けて鋭意検討しており、更に、がんばる漁業の活用により漁業経営の体質強化を図るなど、本県漁業の再生に精力的に取り組んでいる。また、原発事故による風評で失われた本県水産物の常設販売棚を取り戻すため、本県水産物の販路・流通拡大に取り組んでおり、その豊富な知識と経験は、委員として適任であるので推薦いたします。	
4	学識経験委員	久保木 幸子	75歳	女		H15.8～現在 H19.8～現在 H21.4～現在 H21.7～現在 H27.6～現在 いわき市漁業協同組合女性部 部長 いわき市食育推進委員会 委員 福島県水産振興審議会 委員 福島県漁協女性部連絡協議会 会長 全国漁協女性部連絡協議会 理事	漁業経営					福島県漁業協同組 合連合会	会員が協同して経 済活動を行い、所 属員の漁業の生産 能力の向上等その 事業の振興を図 り、もって所属員 の経済的社会的地 位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	久保木幸子氏は、地元女性部活動を通じて漁食普及活動を長らく牽引してきた。活動は、地元から県内外へ広がりを見せ、現在は、全国漁協女性部連絡協議会理事の要職に就きながら、福島県漁協女性部連絡協議会会長として、引き続き意欲的に取り組んでいる。特に、東日本大震災及び福島第一原発事故からの浜の復興、風評払拭イベントに積極的に参加するなど、その功績により、本年度いわき市産業功労賞を受賞している。 各浜の漁協女性組織からの信頼も厚く、豊富な経験と知識は、委員として適任であるので推薦いたします。	

【中立委員】

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）				推薦理由			
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の 役職・氏名		構成員		
							従事年数	主な 漁業種類									構成員の人数	構成員たる資格	
1	中立委員	宮下朋子	38歳	女	弁護士	H20.12～H25.7 H25.11～現在 検察庁にて勤務（検察官） 高橋・宮下法律事務所にて 勤務（弁護士）	-	-	鈴木延枝	64歳	女	弁護士							（個人推薦） ・真面目で粘り強く、礼儀正しい人柄である。 ・福島労働局のあっせん委員にもなっており、公のための活動することに前向きで、1つ1つしっかりと取り組んでいるように見受けられる。 ・まだ若く、活力がある。 ・ご主人と共に法律事務所を経営しており、ご主人の協力も得られるので、委員会への出席も確実である。
2	中立委員	吉田 数博	72歳	男		H9.5～H30.6 H21.5～H25.4 H24.2～H25.4 H27.5～H29.4 H30.8～現在 浪江町議会議員 浪江町議会議長 双葉地方町村議会議長会会長 浪江町町議会議長 浪江町長						浪江町		浪江町長 吉田 数博	171人		被推薦者は、平成9年から浪江町議会議員として21年間、町政に尽力してきた。平成30年度には、浪江町長に就任し、東日本大震災と福島第一原発事故により被災した故郷の復興に取り組んでいる。 沿岸地区の地方公共団体の首長として、水産業の見識を有し、漁業を通じた福島復興の視点を持ちながら、中立的な立場により、海区漁業調整委員会の所掌に属する事項についての公平・公正な立場で判断できるものであることから、今般、委員に推薦する。		